

要望事項	7 オリンピック・パラリンピック準備局
	(1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会成功に向けての気運醸成への財政支援と聖火リレーの全町村を巡るコース設定

(要 旨)

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあたり、各町村の大会開催気運醸成に向けた取り組みへの財政支援と西多摩及び島しょの総ての町村に聖火リレーが巡るコース設定にするよう強く求める。

(説 明)

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は国民に多くの夢を与えると共に、その経験は次の世代への貴重な財産として受け継がれていくこととなる。

大会の成功に向けて、オール東京での大会開催気運醸成は不可欠である。特に、競技が実施されない西多摩及び島しょ地域でも大会開催気運醸成を図っていくことが重要である。各町村が大会開催気運醸成に取り組むにあたっては、都の財政支援等が不可欠である。

また、1964年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、町村に聖火リレーが巡ることはなかった。

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会では、西多摩及び島しょの総ての町村に聖火リレーが巡ってくることになれば、年齢層も問わず住民一人ひとりが大会開催を実感し、記憶に残る大会となり、大会開催気運醸成に、大きな効果が期待できるものと確信している。

ついては、西多摩及び島しょの総ての町村に聖火リレーが巡るコース設定にするよう強く要望する。

要望事項	7 オリンピック・パラリンピック準備局
	(2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会合宿地の誘致と施設整備の財政支援

(要 旨)

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあたり、次の事項について、積極的に財政支援を図られたい。

- ① 大会事前合宿（キャンプ）地の誘致推進にあたり関係機関との調整及び支援
- ② 合宿（キャンプ）に伴う施設整備の財政支援

(説 明)

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は、国際親善、スポーツの振興等に大きな意義を有するものである。多摩・島しょにおいても豊かな自然やおもてなしの心で、競技大会事前合宿（キャンプ）地として世界のトップアスリートを迎え入れ、交流を通じて次世代を担う子供たちに大きな夢と感動を与え、地域の活性化につなげたい。競技大会事前合宿（キャンプ）地誘致の調査研究、PR活動を行ううえで、関係機関との調整及び必要な知識・技能・方策について指導、支援が必要となる。

また、合宿（キャンプ）にともなう施設整備について財政面で支援を図られたい。

要望事項	7 オリンピック・パラリンピック準備局（生活文化局）
	（3）社会教育活動の充実

（要 旨）

地域の社会教育活動の充実を図るため、次の事項について措置されたい。

- ① 芸術文化活動への補助及び演奏家、芸術団体の派遣
- ② スポーツ指導員の派遣及び育成の充実

（説 明）

- ① 地理的条件から、西多摩地域及び島しょ地域の住民は、芸術文化活動に触れる機会が乏しい。鑑賞会、演奏会等の文化活動が身近な施設でより多く企画できるよう、財政的支援及び都による演奏家、芸術団体等の派遣が必要である。
- ② 町村には、スポーツに対する住民ニーズの多様化やスポーツ人口の増加に応ずる専門的な技術指導のできるスポーツ指導員が少ないため、専門指導員の派遣やこれら指導員の育成が必要である。